

## 若年性認知症本人交流会

# おれんじサロン ひと・まち

## ご案内



日時 毎月第4水曜日  
場所 ひと・まち交流館京都2階  
第1・2会議室  
対象 定員10名 事前予約制



- ・若年性認知症の方
- ・介護サービスを利用していない方を優先します。
- ・会場に来ることができる方  
(送迎はありません)



## ご本人・ご家族の方へ

京都市長寿すこやかセンターでは、平成25年7月から認知症本人交流会を毎月1回開催し、平成27年5月からは対象者を若年性の方に特化した、若年性認知症本人交流会を実施しています。

毎回、5名～7名の本人、ご家族、ボランティア、福祉専門職のスタッフで取組をすすめています。同じ立場の人同士で、お茶を飲んだり、体操したり、悩みを共有します。

あなたも一緒にこころ落ち着く一時を過ごしませんか。

### 専門医の受診なら

京都地域包括ケア推進機構が運営するポータルサイト「きょうと認知症あんしんナビ」では、次の医師・医療機関リストの閲覧・検索が可能です。

<http://www.kyoto-ninchisho.org/>

- かかりつけ医認知症対応力向上研修受講者
- 日本認知症学会…認定専門医、専門医のいる施設
- 公益社団法人 日本老年精神医学会…高齢者のこころの病と認知症に関する専門医、こころと認知症を診断できる病院&施設
- 日本精神科病院協会（日本精神科医学会）…認知症臨床専門医



『認知症ガイドブック京都市版認知症ケアパス』(京都市)より

### 認知症サロン(カフェ)の取り組みについて

認知症サロン(カフェ)は、認知症の人や認知症に関心のある人を対象にした集いの場です。認知症の人やその家族が同じ立場で経験を共有したり、相談に応じています。

京都市内では認知症サロン(カフェ)が28か所と広がっています。あなたのお住まいの近くのサロン(カフェ)を探してみましょう。



### 認知症の人の介護家族交流会

家族交流会では、認知症の方を介護されている家族同士の交流を通じて認知症に対する理解をさらに深めるとともに、介護の大変さや思いを共有したり、困りごとを解決するヒントを得る場として開催しています。

\*希望者には、精神科医による個別相談を行っています。

日時：毎月第3水曜日 13:30～15:30 定員：20名  
場所：ひと・まち交流館京都 会議室 参加費：無料

### 主催・申込・問合せ

## 京都市長寿すこやかセンター

(運営 社会福祉法人京都市社会福祉協議会)

電話 075(354)8741

FAX 075(354)8742

〒600-8127

京都市下京区西木屋町通上ノ口上ル梅湊町83-1「ひと・まち交流館京都」4階



# 若年性認知症本人交流会「おれんじサロンひと・まち」に参加しませんか

～認知症のことを気軽に話し合ってみたい。同じ病気をもつ仲間とつながりたい。～

## サロンでの1日の流れ

(\*プログラムによって変更する場合があります。)

14:00～開始・体操など体を動かすメニュー

14:30～茶話会や創作活動などお話し中心のメニュー

15:30 終了



## 季節ごとの行事にも取り組んでいます



▲外出行事の取り組み  
カフェジョイント・ほっと（四条寺町）にお邪魔しました。



▲創作活動（臨床美術）の取り組み  
製作活動後のミニ展示会も好評



▲卓球の取り組み

「高齢者の約4人に1人が認知症の人又はその予備軍。」とされています。  
65歳未満で発症する若年性認知症は、実態が明らかでなく、支援も十分でないことから、認知症の本人や家族の生活への影響が大きく、近年注目を浴びています。  
本センターでは平成25年7月から初期認知症、平成27年5月から「若年性」に特化した認知症サロンを開催しています。

## 参加者のこえ

Q おれんじサロンひと・まちに参加されたきっかけを教えてください。

A 病気の告知を受け仕事をやめてから何をすべきなのか、何をしたいのか見出せない日々が続きました。毎日、困惑していた私を見て、妻が「サロンに行こう」と誘ってくれました。

Q 現在の生活の様子を教えてください。

A 毎週の病院デイケアのテニス教室や、隔週で絵画サークルに通っています。様々な認知症カフェにも足を運びます。認知症について当事者や家族が話し、多くの人に理解してもらうことが大切です。講演会活動など「認知症の人と家族の会」と共に社会に発信できればと考えています。

## 若年性認知症とは？

若年性認知症とは、基本的に高齢者の認知症と同じ疾患によって起こる病気ですが、65歳までに発症した場合を言います。その原因として、アルツハイマー病、前頭側頭型認知症、脳血管障害、または事故などによる頭部外傷等、多くの原因疾患があげられます。

高年期に発症する認知症に比べ、その進行が早い場合が多いことや、女性よりも男性の方が多いのが特徴です。